

当院では、研修を大きく二つの目的に分けて実施しています。一つは、業務に必要な基礎的な能力の習得を目的とした研修であり、代表的なものとして新入職研修が挙げられます。もう一つは、自己研鑽を目的とした研修で、リハビリテーション科の管理職から認められた専門性を有するスタッフが講師を務めて行われます。

2025年10月29日に「腰痛に対する考え方（part1）」をテーマとした研修会を行いました。この研修会は、業務に必要な基礎的な能力の習得を目的としており、講師は藤原と津田副主任が担当しました。参加者した1年目と2年目のスタッフ計7名は、熱心に学ぶ姿勢を見せており、研修の意義を感じさせる時間となりました。

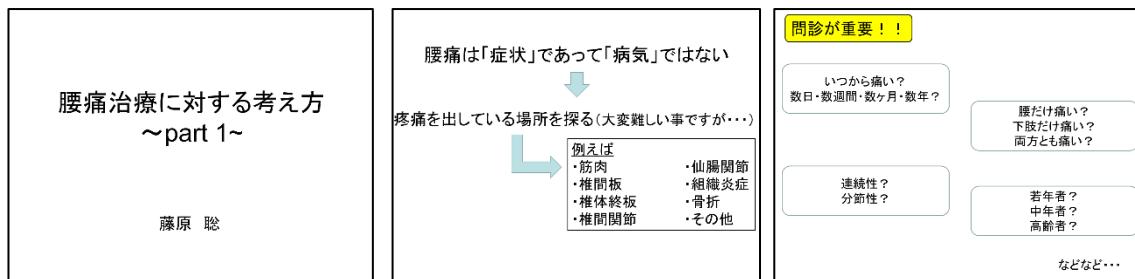
当院には脊椎・腰痛センターが併設されており、腰痛に関する知識と技術の向上は、日々の臨床において非常に重要な課題です。今回の研修会では、座学による理論的な学びに加え、実技として触診も行い、より実践的な理解を深めることができました。

研修後には、「腰痛の患者様を担当する機会が多く、今回の研修会で学んだことはすぐに臨床で活かせそうです」との感想が寄せられ、現場に直結する学びであったことがうかがえました。

今後も、リハビリテーション科では、患者様により質の高いリハビリテーションを提供できるよう、継続的な研修や教育活動に積極的に取り組んでまいります。

（文責 藤原 聰）

### 【研修会資料】



### 【研修会風景】

